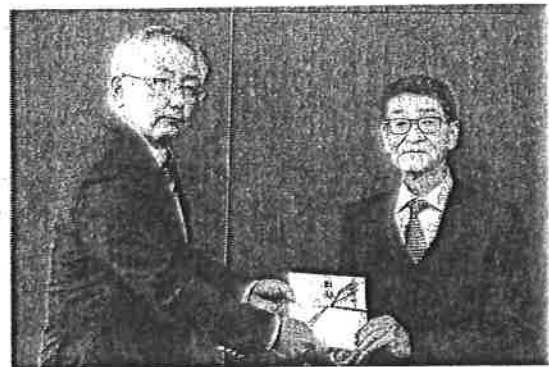


胆振東部地震で見舞金寄付

日本設備設計事務所協会連が道に



種市会長（右）が目録を贈呈した

日本設備設計事務所協会連合会は19日、北海道胆振東部地震の災害見舞金として185万9543円を道に寄付した。同

会の代理で北海道設備設計事務所協会の種市由夫会長らが道庁を訪れ、道建設部の平向邦夫建築企画監に目録を手渡した。

今回の寄付は、連合会を構成する協議会のうち関東、東海・北信越、近畿、中国・四国、九州・沖縄の5ブロックによる

もの。北海道・東北ブロックは昨年11月に68万円を贈呈している。

種市会長は全国の連合会構成員が地震後に労をねぎらってくれたとし、「地域を問わず互いに助け合っている。寄付金はしっかりと復興に役立ててほしい」と話した。

平向建築企画監は「これから本格化する復興事業に向け、大切に使用させていただく」と約束し、さらなる協力を求めた。